

# ～ 小学と生の交流会 ～

## 川上小学校

五年 米井 麻子

三恵ホームへ行ったとき、私は出し物をしたり、紙しばいをしたりしました。見てくれた人は、おもしろそうに一生けん命見ていました。だからがんばりました。三恵ホームの人たちは、とてもやさしく、楽しい交流でした。また行きたいです。

六年 兵頭 摩耶

交流会で〇×クイズをした時、最初はあまり笑ってくれなかった方が、私が「すごいですね。今まで全問正解ですね。」と笑って言ったら、笑顔を返してくれましたので、とてもうれしかったです。



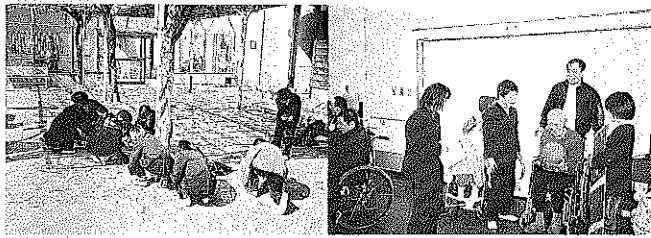
それから、私は、将来こんなところで働きたいなと思うようになりました。

## 東谷小学校

四年 近藤早也佳

私は、三恵ホームの人達と交流をして、ふれあうことがどんなに大切かを学びました。実際、小さい時に三恵ホームに行った時は、ただ楽しいなと思っていました。ボウリングゲームをしたり、中庭で草むしりをしたりして、とてもここはいい所だなと初めて知りました。五年生になってまた行くけれど、今度はもっと交流を深めていきたいです。

オセロをしてくれた  
おばちゃん  
五年 田中 達也  
ぼくは、バラのルームにいるおばちゃんとオセロをやりました。おばちゃんは、オセロを楽しくやってくれてよかったです。



オセロが終わるころに時間がきて、おばちゃんが最後にぼくの名前を聞いてくれました。そして「また来てね。」と言ってくれて、また行こうと思いました。

## 西谷小学校

心の勉強になった三恵ホームの訪問  
五年 戒能 陽介

ぼくは、三恵ホームの訪問の計画を立てる時から、「こんなところでちゃんと交流が深まるのかなあ。」ましてや、三恵ホームのみなさんに「どうせこんな行事があっても意味がない。」と思われているんじゃないかと少し心配でした。三恵ホームの訪問が近づくと、心配が高まり、とうとう三恵ホームの訪問当日になりました。

芸などはみなさんに喜んでもらえて、本当にうれしかったです。だけど、三恵ホームのみなさんのおしゃべりの時にすごく緊張しました。思い切って、自分から「今、大切にしている物はなんですか。」と聞きました。それから話題が広がり、もう友達のように話し出せ、時間も忘れるほどでした。

やっぱり、国語で習った「言葉と気持ち」という学習で、言葉は人と人を結びつける大切な役わりをしているんだなと思いました。

